

# BACCALAURÉAT GÉNÉRAL

**SESSION 2019**

**JAPONAIS**

---

**LANGUE VIVANTE 1**

Durée de l'épreuve : **3 heures**

Séries **ES** et **S** – coefficient : **3**

Série **L** Langue vivante obligatoire (LVO) – coefficient : **4**

Série **L** LVO et Langue vivante approfondie (LVA) – coefficient : **8**

---

*L'usage de la calculatrice et du dictionnaire n'est pas autorisé.*

Dès que ce sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.  
Ce sujet comporte 5 pages numérotées de 1/5 à 5/5.

## **Répartition des points**

Compréhension de l'écrit	10 points
Expression écrite	10 points

## Notion : espaces et échanges

### 外国人の落語家

あでやかなブルーの着物を着て、扇子と手ぬぐい<sup>1</sup>を手に話すのは、イギリス・リヴァプール出身の女性落語家・ダイアン吉日<sup>きちじつ</sup>さんだ。

「もともと人を笑わせるのが好き。海外にも落語<sup>2</sup>に似たものはあるけれど、落語は扇子と手ぬぐいだけを使う。そしてひとりで男も女も何役もこなす。これは落語にしかない魅力<sup>3</sup>です」

1990年、世界中を旅してみたくて各国を回る旅の途中<sup>とちゅう</sup>に来日した。生け花、茶道、着物などの日本文化に魅了<sup>みりょう</sup>され、そのまま日本で暮らし始めた。落語に出合ったのは来日から6年後で、桂枝雀<sup>かつらしじゃく</sup>さんの英語落語を見たのがきっかけだった。

「桂枝雀<sup>かつらしじゃく</sup>師匠<sup>ししょう</sup>の英語の先生がたまたま私の知り合いで、落語会の『お茶子<sup>ちやく</sup>』<sup>5</sup>をしてみないかと誘<sup>さそ</sup>われたんです。そのときは全く意味がわからなかったんです。私には無理だと思ったけれど、英語の先生に『着物を着られるし、教えてあげるから』と言われてやってみました。当日、枝雀<sup>しじゃく</sup>師匠<sup>ししょう</sup>の落語を見て、うわあ、コメディーだ、面白い！って夢中<sup>むちゅう</sup>になったんです」

落語の世界にひかれ、1998年に初めて落語をしました。古典から創作落語<sup>そうさく</sup><sup>6</sup>まで、英語と日本語の両方で演じるその芸風は、多くの人から支持されている。今では1回のイベントに1000人以上が集まることもある。

「最初は『女は落語をしない』とか『外国人に日本人の心はわからない』という声もあったけれど多くの人々が援助してくれた。ただ、落語をするのにいろいろ調べるのは今でも大変。古典落語だったら、お金は“文”とか“両”<sup>りょう</sup>といった昔のことを調べないとダメです。」

今では出身地のリヴァプールやアブダビ、米国など海外に活躍<sup>かつやく</sup>の場を広げている。また、東日本大震災<sup>だいしんさい</sup>の時は被災地<sup>ひさいち</sup><sup>7</sup>に赴き、避難所<sup>ひなんじょ</sup><sup>8</sup>に笑いを届けた。

<sup>1</sup> 手ぬぐい : sorte de serviette en coton

<sup>2</sup> 落語 : forme de spectacle humoristique où se produit un conteur datant du début de l'époque d'Edo

<sup>3</sup> 魅力 : charme

<sup>4</sup> 師匠 : maître, professeur

<sup>5</sup> お茶子 : personne chargée d'assister le conteur sur scène pour ranger des accessoires entre autres

<sup>6</sup> 創作落語 : forme de rakugo plus récente apparue au début du XXe siècle

<sup>7</sup> 被災地 : région sinistrée

<sup>8</sup> 避難所 : camp de réfugiés

「あの時は、津波<sup>つなみ</sup>で全部流されて街全体に色がなかった。私が派手な衣装<sup>はで いしょう</sup><sup>9</sup>で行って、落語を披露<sup>ひろ</sup>する<sup>10</sup>と笑顔になる。笑いは世界共通、言語がわからなくても楽しめるんです」

25 落語以外にも風呂敷<sup>ふろしき</sup>教室や着物<sup>かいさい</sup>教室を開催するダイアンさんは、「日本の素晴らしい文化を大切にすべき」と言っている。「私もイギリスにいた時は他の国の芝居<sup>しばい</sup>に憧<sup>あこが</sup>れていた<sup>11</sup>けれど、外から見るとイギリスってカッコいいことがわかった。海外の文化に憧<sup>あこが</sup>れている日本人が多いのはもったいない」

30 寝る時間もないほど忙しいけれど好きなことをしているから疲れない、と笑う。今年も人々に笑いを届<sup>とど</sup>ける。

『女性セブン』2015年1月22日号による

---

<sup>9</sup> 衣装 : costume

<sup>10</sup> 披露する : présenter

<sup>11</sup> 憧れる : admirer, se passionner pour

## TRAVAIL À FAIRE PAR LE CANDIDAT

- 1) Les candidats traiteront le sujet sur la copie qui leur sera fournie en faisant apparaître la numérotation.
- 2) Ils composeront des phrases complètes chaque fois qu'il leur est demandé de rédiger les réponses, sauf indication contraire.
- 3) Les citations seront limitées aux éléments pertinents et suivies de la mention de la ligne.

## COMPRÉHENSION DE L'ÉCRIT

Tous les candidats traiteront les questions suivantes :

Répondez aux questions suivantes en japonais :

1. 吉日きちじつさんが生まれ育ったのは、どの国の、どの地方ですか。
2. 吉日きちじつさんが日本きょうみに興味を持ち始めたきっかけは何ですか。
3. 吉日きちじつさんは日本に着いてからすぐ落語きょうみに興味を持ち始めましたか。どうしてそれが分かりますか。
4. 吉日きちじつさんが落語は特別だと思っているのはなぜですか。
5. 吉日きちじつさんが落語をして難しいと感じることは何ですか。例を2つあげてください。
6. 吉日きちじつさんが落語に対して好感しめを示している表現ひょうげんを2つあげてください。
7. 吉日きちじつさんは外国くで暮らしていることについてどう思っていますか。テキストのどこから分かりますか。
8. 吉日きちじつさんによると、落語が多くの人に楽しめるのはなぜですか。

Seuls les candidats composant au titre de la LVA (Langue Vivante Approfondie) traiteront également la question suivante :

9. 27-28 行目に「海外の文化あこがに憧れている日本人が多いのはもったいない」とあります。吉日きちじつさんはどうしてそう述べているのですか。あなたもそう思いますか。

## EXPRESSION ÉCRITE

**Seuls les candidats des séries S et ES et ceux de la série L qui ne composent pas au titre de la LVA (Langue Vivante Approfondie) traiteront les deux questions suivantes :**

Traitez les deux sujets suivants. Vous indiquerez distinctement sur votre copie le numéro correspondant à chaque sujet.

1. 外国の文化に興味きょうみを持つことは重要だと思いませんか。それはどうしてですか。(150 signes)
2. あなたは、将来しょうらい、外国で暮くらしたいと思いませんか。それはどうしてですか。(250 signes)

**Seuls les candidats composant au titre de la LVA (Langue Vivante Approfondie) traiteront la question suivante :**

あなたはどんな日本の伝統芸能でんとうげいのう<sup>12</sup>を試してみたいと思いませんか。それはどうしてですか。  
(400 signes)

---

<sup>12</sup> 伝統芸能 : art traditionnel